

2022年2月10日

各 位

上場会社名 アールビバン株式会社
代表者 代表取締役会長兼社長 執行役員 野澤 克巳
(コード番号 7523)
問合せ先 取締役執行役員 経営企画室長 樋口 弘司
(TEL 03-5783-7171)

社内調査委員会の設置及び過年度決算修正並びに決算発表延期に関するお知らせ

このたび、2016年以降の売上原価の一部に計上漏れがあることが判明し、2016年以降の決算の訂正を行う必要がでてきました。つきましては、2022年2月10日開催の取締役会において、社内調査委員会の設置及び2022年2月10日予定の2022年3月期第3四半期の決算発表を延期することを決議いたしましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

株主・投資家の皆様をはじめお取引先及び関係者の皆様には、ご迷惑とご心配をおかけしますことをお詫び申し上げます。

記

1. 社内調査委員会の設置について

今般、2016年以降の商品原価（売上原価）の一部に計上漏れがあることが判明し、2016年以降の決算の訂正を行う必要がでてきました。現在、当社では、内部監査室及び経理担当部門並びに商品担当部門において、売上原価データの計上漏れの確認・検証（網羅性の検証を含む）を全力で行っておりましたが、さらに、調査に万全を期すため、部門横断的な役職員で構成される社内調査委員会を設置することを決定いたしました。

（社内調査委員会の構成）

委員長 園川 勝美（常勤社外監査役）
委員 郷倉 正人（独立役員・社外取締役）
委員 石久保 善之（公認会計士・石久保公認会計士事務所）
委員 平 英毅（弁護士・東京市谷法律事務所所長）
委員 樋口 弘司（取締役執行役員 内部監査室長）

※委員の郷倉正人氏につきましては、株式会社東京証券取引所の定めに基づく独立役員に指定し、同証券取引所に届け出ております。

（調査の目的）

- ・ 商品原価（売上原価）の計上漏れ額の確定
- ・ 類似事案の発生の有無の確認
- ・ 原因分析と再発防止の提言
- ・ 連結財務諸表等への影響の算定
- ・ その他社内調査委員会が必要と認めた事項

2. 決算発表延期の理由について

＜発覚の経緯＞

今般、1社の取引先より支払の漏れがあるのではないかないかの確認を受け、社内調査をいたしました結果、2016年以降売上原価の一部に計上漏れがあることが判明し、2016年以降の決算の訂正を行う必要がでてきました。

＜調査の概要＞（現在までの調査内容になります。）

売上原価の計上漏れの原因を調査しましたところ、商品担当部門の担当者間におきまして、事務処理作業の業務の連携（引き渡し）が正確にできず、業務を引き受けた担当は、商品原価の複数の原価構成のうち一部の商品原価の計上のいらぬ商品仕入れとして誤認し、処理をしてしまっていたため、当該原価の計上を漏らしておりました。

計上漏れ額（2017年3月期第1四半期から2022年3月期第2四半期までの累計）は、現在精査中で

あります（現状4～8億円程度と推定しております）。

<延期を必要とする理由>

現在、当社では売上原価データの計上漏れの確認・検証（網羅性の検証を含む）を全力で行っていましたが、さらに、調査に万全を期すため、本日、社内調査委員会の設置を決定しております。十分に検証した数値を得ること、本件の内容が判明するまでには、一定の時間を要します。

また、今回の2022年3月期第3四半期決算発表において、過去に提出した四半期報告書、有価証券報告書、内部統制報告書の訂正報告書の提出、決算短信、四半期決算短信の訂正の開示（以下「決算訂正」といいます）もあわせて予定しており、決算訂正の数値について、2022年3月期第3四半期報告書の内容にも関連することから、当社での社内調査資料の収集、確認作業及び監査法人による確認作業を進めている状況においては、第3四半期の決算発表は困難であるとの判断に至り、当該第3四半期の決算発表の延期を行うことといたしました。

同四半期報告書の提出についても対応を検討しており、対応が決定した場合は速やかにお知らせします。

3. 今後の予定について

延期後の決算発表日につきましては、決定次第速やかに公表いたします。

4. 業績に対する影響について

現状、当期の業績に与える影響は、軽微であると判断しておりますが、影響が見込まれる場合は速やかに情報開示いたします。

以上